春近き日

小川未明

青空文庫

お母さんが、去年の暮れに、町から買ってきてくださったお人形は、さびしい冬の間、少女といっしょに、仲よく遊びました。

それを、どうしたことか、このごろになって、お人形は、しくしくと泣いて、お嬢さんに願ったのであります。

「どうか、私をお母さんのところへ帰してください。」と申しました。

少女は、どうしていいかわかりませんでした。お人形のお母さんがどこにいるかということもわからなければ、せっかく仲よく遊んだお人形に別れることも悲しかったからです。

「私は、お母さんに聞いてみます……。」と、少女は答えました。

すると、かわいらしいお人形は、目をまるくして、

「どうか、お嬢さま、そのことはだれにも話さないでくださいまし。」と、頼みました。

「おまえのお母さんは、どこにいらっしゃるの？　それがわかれば、帰してあげてもいいわ。」と、少女は申しました。

お人形は、たいそう喜びました。

「毎朝、この窓のところへ、べにすずめがきます。あれに言づけしてもらえば、お母さんは、だれかきっと私を迎えによこしてくれます。どうかお嬢さま、私を明日の晩方、野原のところまでつれていってくださいまし。」と、真っ黒な目で見上げてねがいました。

その晩は、いい月夜でした。もうじきに春のくることを思わせました。

翌朝、べにすずめが窓にきて鳴きました。

晩方、少女は、お人形を抱いて村はずれへきました。まだ、遠くの山々には、雪が光っていました。このとき、どこからともなく美しい馬車が前へきて止まりました。お人形は、その馬車に乗って、お嬢さまにお別れを申しました。やがて、黒い馬は、美しい馬車を引いて、あちらへ駆けていってしまったのです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　4」講談社
　1977（昭和52）年2月10日第1刷発行
　1977（昭和52）年C第2刷発行
底本の親本：「海から来た使ひ」岡村書店
　1926（大正15）年7月
初出：「子供之友」
　1926（大正15）年3月
※表題は底本では、「春《はる》近《ちか》き日《ひ》」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：栗田美恵子
2019年2月22日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

春近き日

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/